

梅田健康医学クリニックの魅力



2022年10月に大阪梅田に開院した「梅田健康医学クリニック」では、人間ドックや健康診断、外来診療を行っています。このクリニックに在籍している3人の女性内視鏡医に集まっていただき、クリニックの魅力や、そこで働く上で大切にしている想いなどについて話を聞きました。

まず、梅田健康医学クリニックについて教えてください。

中村: 大阪梅田ツインタワーズ・サウスの13階にあるクリニックです。2022年10月に開院したまだ新しい施設なので、きれいで快適な場所で人間ドックや健診を受けていただけます。女性専用の待合室を備え、更衣室も女性のほうが広いなど、女性に気持ちよく受診していただける環境を整えています。

都: 私たちのような女性の内視鏡医が3人もいるクリニックというのは珍しいですね。若い女性の場合、大腸内視鏡検査は「女性の医師のほうがいい」とおっしゃる方が多く、女性医師がいるからという理由で当クリニックを選んでいただくことも多いと思います。



なかむら くみこ
中村 久美子 臨床講師

梅田健康医学クリニックの開院にも携わった常勤医師。患者さん中心の丁寧な診療を心がけている。

医学博士、日本消化器病学会 専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会 専門医 ほか



みやこきょう
都 杏

2児の母。2人目を出産後、梅田健康医学クリニックに勤務。医師としてのモットーは「初心忘るべからず」。

日本消化器病学会 専門医、日本内科学会 認定内科医 ほか

小谷: 大腸はもちろんですが、胃カメラも恥ずかしさなどから抵抗を感じて、女性の医師を希望される方がいらっしゃいますね。

都: 一般的なクリニックだと、女性の内視鏡医がいたとしても1人だけのことが多いので、検査の曜日が限定されることが多いんです。当クリニックには3人いるので、だいたいどの曜日でも受けていただけますね。

中村: 電話1本で予約して大学病院クオリティの検査を受けられます。外来診療もやっていて兵庫医科大学病院との連携もしっかりしているので、患者さんにも喜ばれています。

内視鏡検査で大切にしていることや目指していることはありますか？

中村: なるべく苦痛なく受けていただけるように配慮するというのがやはり一番ですね。

小谷: 長い時間がかかると、患者さんはどうしても苦しく感じてしまうので、短い時間でしっかり観察する、効率がよく質の高い検査を心がけています。

中村: その点で、AIを導入しているというのは、患者さんにとっても安心材料ではないでしょうか。大腸内視鏡の検査で、3つある検査室のすべてにAIを導入しています。検査中にポリープが映れば、リアルタイムで反応して、それが腫瘍性なのか非腫瘍性なのかというところまで診断してくれるんです。

都: 内視鏡の機器もずいぶん進歩しています。胃カメラなんかすごく細くなっていて、患者さんの苦痛はかなり軽減していると思います。

中村: カメラの画質もすごく良くなりました。モニターも4Kになりましたし。

小谷: その分、詳細に検討できて正確な診断につながるの、患者さんにとってもいいことだと思います。

患者さんや健診を受ける方と接する中で、うれしかったことはありますか？

中村: 「先生に診てもらって良かった」と言われるとうれしいですね。内視鏡では「楽だった」と言ってもらえると、ちょっとうれしいかな。当クリニックでは、健診の胃カメラは、鼻から入れる一番細いもので検査するので、それも理由だと思いますけど。

都: 点滴の麻酔に対応しているのも特徴だと思います。健診で鎮静剤を使う施設はあまり多くはないので。眠っている間に検査が終わるので、より楽に受けていただけますよ。

中村: 「終わりましたよ」って声をかけたら「もう終わったんですか？」と驚かれる方もいますね。

都: あとはやはり「女性の医師で良かった」というお声が多いです。



こだみ みお
小谷 美央

体調を崩した際の自らの経験を生かし、患者さんの気持ちに寄り添う医療を提供できるように努めている。

医学博士、日本内科学会 認定内科医

小谷: 診察室では、婦人科領域などについても相談されることがあります。同性なので相談しやすいのでしょうか。お話を聞いて、必要であれば該当する科への受診を含めたアドバイスをさせていただきます。

診療する上でのモットーや、大切にしていることを教えてください。

都: その方の状況などをしっかり聞き取って、なるべく寄り添って考え、診療したいと思っています。

中村: 私は患者さんと同じ目線で診療を行うように心がけています。病気だけでなく、その人の全体を見て、その人がどのように考えているのかにも配慮しながら話をするようにしています。なるべく親身になって、話しやすい雰囲気をつくれたらと思っています。

小谷: 私はこのクリニックに来る前に、体調を崩していた時期があって。それから改めて健康管理に努めるようになりました。定期的に検査を受けたり早めに受診したりすることの大切さを身をもって感じましたね。自身の経験で学んだことを診療に生かし、伝えていきたいです。

皆さまにメッセージをお願いします。

中村: 当クリニックはできたばかりの広い施設で、女性医師もいますので、いろんな方に、普段の体のメンテナンスだと思って健診を受けていただけたらと思います。

都: 健診で病気が見つかる場合は、無症状のこ



とが多いんです。大腸がんも、基本的に早期の段階では無症状ですので、検査をしないと見つかりません。健診とその後の検査は非常に大事だと思います。

中村: せっかく人間ドックや健診を受けたのに、良くない結果が出てでも毎年そのままにしている方が多いんです。健診などで気になる結果が出たら、きちんと検査を受けてほしいと思います。

都: 女性の場合「恥ずかしい」という理由で腰が引けることもあると思います。そんなときは、ぜひ女性の内視鏡医がいる当クリニックにお越しください。

小谷: 若い世代は特に、自身の健康について、いつまでも当たり前にあるものだと思っている方や、あまり意識されていない方が多いかと思います。かつての私もそうでした。でも、いざ健康を損なってしまうと、不自由でつらい思いをしたり、不利益となったりすることが本当に多くて。健康が一番大事だと、心から実感しました。当たり前である健康を維持していくために、ぜひ相談に来ていただければと思います。

3人が内視鏡医になったきっかけや、想いがわかる座談会の完全版は
梅田健康医学クリニックのサイトでお読みいただけます。

<https://umeda-kenshin-clinic.jp/discussion.html>

スマホなら
こちらから

